



令和6年度 学校づくりプラン

校訓

自学 自律 協力

令和6年度 学校教育目標

安心して学べる学級を築き、主体的に行動ができる羽中生

今年度の Keyword

安心感 寛容力 主体性

Point_01

安心して伸び伸び学べる、寛容的で協働的な学級づくり



誰もがウェルビーイングを感じられる居場所になる学級

「間違いや失敗は当たり前!」と、互いに寛容することができる学級

少数・異質な意見も尊重を



授業で築く安心感

「教室はまちがうところだ」

※蒔田 晋治(著)

誰ひとり取り残さない、発達支持的な個々への関わり

Point_02



一人一人の悩みや「困り感」に寄り添うような子どもとの関わり

小さな「サイン」を見逃さないような子どもたちとの関わり

いじめの未然防止・撲滅

チーム援助会議

教育相談活動の充実

後期の重点

寛容的で安心感のある「学級風土」が全ての教育活動の基本

学校づくりの基盤は学級づくり (学校経営) (学級経営)

自己肯定感を高めてココに向けて主体的に取り組む子ども

Point_03

主体的な学びを育むための授業改善と学力向上



主体性による「個別最適な学び」と寛容力による「協働的な学び」の具現化

Chalk & Talk



「先生にやらされる授業」から「自分から学びとる授業」への変換

テストや宿題の本質的な見直し【学習評価の在り方】

授業づくりの研修 (教師の研鑽)

端末の効果的活用

GIGA スクール構想の完全実現

未来を主体的に捉え、社会的な自立を目指す進路学習

Point_04



15歳(卒業)の姿をイメージし、主体的に進路を考えることができる場づくり

社会常識の理解と、マナーや思いやりなどの社会人に向かうことへの意識の形成

夢と希望を膨らませる進路指導

キャリア教育

社会への適応能力

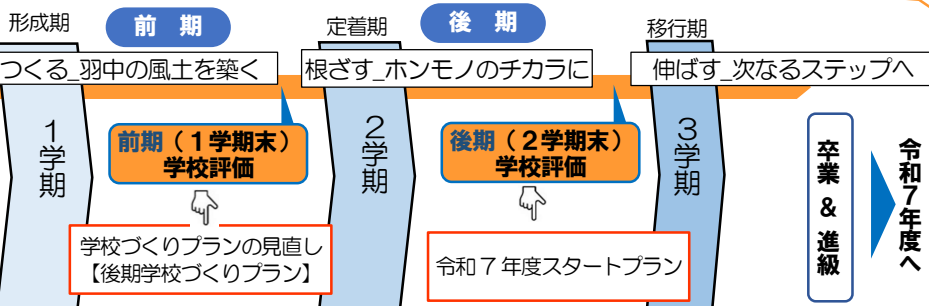
毎日、心身が元気な状態で子どもたちの前に立つための、教職員の働き方改革

ココロとカラダに余裕をもって!



羽幌中教職員はあらゆる活動で子どもたちをサポートします!

1年間のStep



卒業 & 進級

令和7年度へ

【学校評価の観点】羽幌中学校の教育活動に満足していますか?

本校では今年度、時代が求める人材育成に向けて、従前までの画一的で一方的な教え込みによる、“やらされる”学習ではなく、子どもたちが主体的に取り組み、仲間と共に高め合い、支え合いながら、“自ら学びとる”学習ができるようになることを最大目的とし、学校目標を設定しました。これを踏まえ、前期（1学期）の学校評価アンケートを実施しました。生徒・保護者にアンケートを実施し、PTA役員による懇談会も行いました。これらを基に、職員会議にて前期の振り返りをし、後期に向けての目標を再確認しました。

- ◆学校目標キーワードは変更しない
 - ◆「安心できる学級づくり」を重点とする（安心感、寛容力）
 - ◆「学級づくり」は学級担任のみならず、全ての活動に関わる教員が意識して取り組むべきこととする
 - ◆引き続き「主体性」の伸長にも取り組む
- 結果は以上の内容となりました。

中学校の学級においては、学級担任や副担任は朝の会や帰りの会、給食の時間や学活・道徳の授業にて直接の指導や支援に当たりますが、子どもたちの在校時間の大半は各教科の授業です。学習効果を高めるために必須である学級の心理的安全性は、授業の時間においても学習指導と並行して高める手立てを講じるべきと考えます。

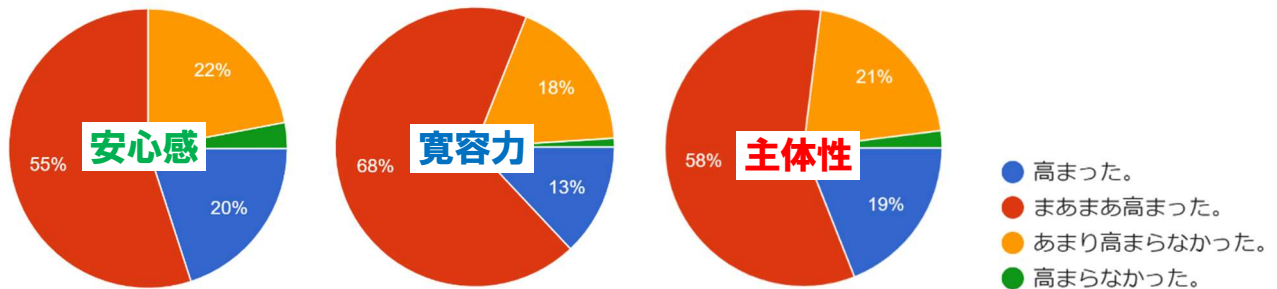
前期は、学習への意欲の低さ、授業中のおしゃべりや居眠り、不適切な端末利用などの実態がありました。後期はこの課題を解消し、誰もが安心した上で主体的に伸び伸びと学習に取り組める教室にならなければいけません。そのため、授業の300分全ての時間において、すべての教師が、その指導・支援に当たる所存です。

また、学級では「道徳で学び、学活で実践」を基本として、望ましい考え方とその行動力を高めつつ、一人一人の寛容力を高め、安心感のある学級づくりに努めます。

後期も保護者・地域の皆様の変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

生徒評価

1学期の学校生活を通して、あなたの「〇〇〇」は高まりました



3つのキーワードについて「高まった」「まあまあ高まった」と回答した生徒が多くいました。特筆すべきは、羽中だより「7月25日号」に掲載したとおり、自由記述の欄に、ポジティブな振り返りを記載している子が多かったということです。

自分の（自分たち）の言動を振り返り、その“よさ”を的確に捉え、次の活動につなげようとする意欲の高さ

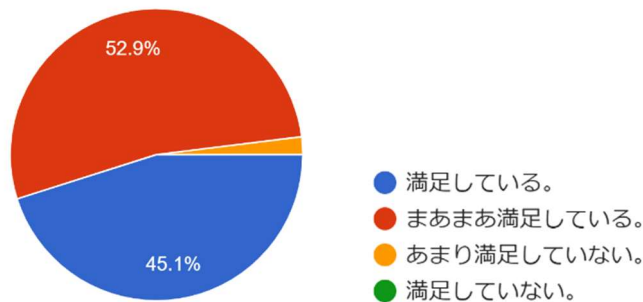
が伺えました。

もちろん、全てプラスではなく、中には「目標を意識していなかった」「勉強をしなかったから」とか、「いじりがある」「悪口を言われてそう」など、クリアしていかなければならない課題も見えています。

後期評価では、グラフの「青」が増え、「黄色・緑」が減る結果になるように努めます。

保護者評価

本校の1学期の教育活動に満足していますか？



①1学期の満足度は先生によって分かります。非常に満足する先生もいれば、しない先生もいますので上記の評価（あまり満足していない）になりました。

②入学時から我が子の個性を尊重した教育をしていただと思っています。先生方には感謝しかありません。

プラス評価が大半を占めていて胸をなでおろしているところです。また、貴重なご意見、ありがとうございました。全ては掲載できませんでしたが、他には、Tシャツの自由化や携帯電話の持ち込みの要望がありましたので、これらの対応を検討した上で何らかの形で改めてお知らせいたします。また、授業中のだらしなさや体育大会の物足りなさ、①のような教員の指導へのご指摘もありました。後期、もしくは次年度の課題として受け止めます。

なお、②③のようなご意見、ホントにありがたいです。先生方のヤル気がupします！

③●●は学習に向かう意欲を学校の環境が作って下さり、◎◎は学習嫌いなのに学校には行きたい環境、居やすくて、過ごしやすい環境を作って下さっていることに感謝しています。

Well-being

○身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

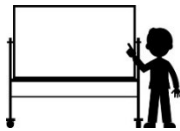
○多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

「教育振興基本計画_第4期」より
(文部科学省)

安心して 伸び伸び学べる 寛容的で 協働的な 学級づくり

誰もがウェルビーイングを
感じられる居場所になる学級

勉強
ガン
ガン
バ
ラ
ウ
！



授業で築く安心感



毎日の授業で
仲間を認め、仲間と共に、

主体的に学ぶ
羽中生



毎日の授業で
個別最適な学びの場面
協働的な学びの場面を
意図的に設定する先生

互いの考えや意見が違った
方が学びは深まる！
だから、他者と異なる考え
や意見は大歓迎！

間違ふことは失敗ではな
く、言わない・行動しないこ
とが失敗である！
だから、間違いも大歓迎！

少数・異質な意見も尊重を

「教室はまちがうところだ」

※蒔田 晋治(著)

「間違いや失敗は当たり前！」
と、互いに寛容することが
できる学級



Shake it off!

学校づくりの基盤は学級づくり
(学校経営) (学級経営)

学級づくりは学級担任だけ
が行うシゴトではなく、各
教科担当の先生方も携わり
ます。

主体的に学習に取り組み、
考えたり、判断したり、表現
したりするチカラを高める
ような活動のあるスタイル、さらには、仲間同士で考
えを練り合い、協力して答
えを導くようなスタイルで
の授業を行い、結果的に知
識や技能が高まるようにし
ます！